

## いじめ防止に向けた学校の取組報告

取組の名称	取組の具体的内容	主な成果と課題
○生徒会あいさつ運動	○月始めに、生徒会執行部による登校時のあいさつ運動を実施している。	○生徒同士のあいさつや声掛けから学校生活が始まり、日頃の生徒会役員の取組から役員の顔を知り、あいさつを返してくれる生徒が増えた。さらに、普段の生徒会行事への参加状況や態度が良くなってきている。
○心のアンケートの実施及び「いじめ防止標語」作成	○クラス担任及び副担任が、クラス毎にアンケート用紙（簡易版）を配布して実施。 ○生徒に「いじめ防止標語」を作成させた。	○個人面談につなぐことができた。 ○生徒自身が、どのような行動が「いじめ防止」につながるかを考える契機になった。
○「6月は心のきずなを深める月間」のポスター掲示	○生徒や職員の目に触れる職員室前の掲示板に掲示。	○強化月間として生徒の啓発活動につなげることができた。
○生徒情報交換会	○全職員で、気になる生徒や配慮、見守ってほしい点等に対する情報交換を行った。	○全職員が、情報を共有し、その後の授業実践や普段の生徒の関わり方に生かしている。またSCやSSWへの相談状況についても、状況等の報告がなされ、連携が取られている。
○心理テスト（Σテスト）の実施	○教育相談係が中心となり、全学年の生徒に実施した。担任と教育相談担当者の二人態勢でクラスに入って、説明した。回答に時間を要する生徒に対しては、2回に分けて実施するなどの配慮を行った。	○一昨年度から実施しており、検査機関のカウンセラーが来校して、担任との個別面談や結果の分析等の職員研修ができています。また、個別に生徒の抱える問題や課題について、外部相談員（SC、SSW）との面談にも資料として活かすことができています。テストの結果は、2学期に出る。
○人権教育LHR	○人権教育担当者が、準備した指導案をもとに、各学年（クラス）で実施した。1年生のテーマ「いじめについて」、2年生のテーマ「人権部落問題」、3・4年生のテーマ「『進路保障』を考える」	○特に1年生では、いじめの具体的な事例を紹介し、そのいじめに対し、「自分が感じたこと」と「その場にいたら自分はどうするか」ということを各自に書かせた。いじめとは何かについて考察し、意見の相違があっても互いを認めあいながら尊重することの大切さを学ぶことができた。2学期に第2回目を行う。

## 「ストレス対処教育」の取組報告

取組の名称	取組の具体的内容	主な成果と課題
○ソーシャルスキルトレーニング	○全学年を混ぜて班分けを行い、アイスブレイキングとしてサイコロトークングを行った。その後、TED Conference: テドカンファレンス(TEDが主催する世界的講演会)で紹介されているマシユマロチャレンジ(パスタタワー)を実施した。	○教職員の研修計画を立て、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーター、人権教育主任、養護教諭が生徒の実態に合わせたLHR指導案を作成した。また、教職員については、いじめの認知について～先生方一人一人がもう一度確認してください～を資料として、組織で対応することが重要であることを共通理解、再認識した。生徒は、コミュニケーション技術が未熟であったり、苦手であったりとトラブルが発生する。生徒共に教職員がトラブルの早期発見、未然防止に努めることができるようにしていきたい。

## いじめの早期発見に向けた取組

学期	取組の具体的内容	主な成果と課題
1学期	○心のアンケート簡易版(6月実施) ○子どものサイン発見チェックリスト家庭配布	○新年度において、人間関係のトラブルなどがないかを把握することができた。 ○定通体育大会に向けた活動の中で、トラブルなどがなかったかを把握できた。 ○家庭との連携をはかりたい。
2学期	○心のアンケート簡易版(11月実施) ○子どものサイン発見チェックリスト家庭配布	○新学期において、人間関係のトラブルなどがないかを把握することができた。 ○文化祭などに向けた活動の中で、トラブルなどがなかったかを把握できた。 ○家庭との連携をはかりたい。
3学期	○心のアンケート簡易版(2月実施) ○子どものサイン発見チェックリスト家庭配布	○新学期において、人間関係のトラブルなどがないかを把握することができた。 ○家庭との連携をはかりたい。

※平成28年度は、いじめ認知件数は0件でした。